

一般質問 吉田修議員 1 項目を問う

問 ごみ出し支援ボランティア創設の考えは

答 既存の組織等に対応不足であれば検討したい



吉田修議員

ごみ出し支援対策は

問 ごみ集積所に分別されていない為、回収されないゴミ袋が時々みられます。

高齢になり分別が困難な方、回収日が分からなくなっている方もいるのでは。残されたゴミ袋に迷惑の声も。

みかねた近所の方が分別しているのを見かけます。ゴミ集積所はきれいにしたいからです。

集積所までのゴミ出しや分別が困難になるとおのずと家の中にゴミがたまってしまいます。

解決策として特定高齢者に対して「ごみ出し支援ボランティア」の創設などが考えられますが町長の考えは。

答 本町においては10月31日現在、高齢化率45・98%。高齢化が進み約2人に1人が高齢者。一人暮らしの世帯も増加しています。

高齢者のゴミ出し支援については介護保険事業の生活援助の一環としてホームヘルパーによるごみ出し支援。シルバー人材センターではワゴンコイン事業も行っています。シルバー人材センターで決めている低料金の制度もありゴミの分別や排出など行うことができますので、多くの町民の方々に知って頂きたい。

問 町では様々な支援策を講じていますが、特に暑い時期にゴミが回収されないとい次の週末で持ち越しとなり近所の方に迷惑になっているのが現実です。

地域で使えるようなボランティア券の発行も視野に「新たなゴミ支援ボランティアの創設」についての考えは。

答 ゴミ出しはルールを守るのが基本であり、自助、共助、公助の中でそれぞれの役割や元気な地域づくり活動の中でどのような方法が良いのか検討してほしい。



▲無分別ごみ出し状況

既存の組織、団体を使用して頂いて不足の時は検討したい。

一般質問 五十嵐敏夫議員 2項目を問う



五十嵐敏夫議員

問 「ごみ収集ステーション」の雪・雨対策は

答 屋根・側面へアクリル板等の貼付け検討

問 沿道・林道の不法投棄の現状と対策は

答 不法投棄看板の改良・マスコミの利用

「ごみ収集ステーション」の雪・雨防対策は

問 町内集落に設置されている「ごみ収集ステーション」の屋根には、一部鉄板等の貼り付けにより、雪雨対策が施されている物もあるが、ほとんどの構造物は、対策がなされていない。特に冬期間においては室内の雪の除排雪が大変である。この為、

全地区の「収集ステーション」の屋根、側面にパネル等の設置すべきと思うが如何か。

答 町内69ヶ所の「ごみ収集ステーション」の一部は元気な地域づくり事業又は一部助成金活用にて対策を講じている物もあるが、現在未対策の「ごみ箱」にパネル等にて改修することを検討します。

問 31年中の改修を実施すべきではないか。

答 アクリル板を屋根・側面に貼り付ける方法で早急に実施の方向で検討す

町内沿道の不法投棄状況と対策は

問 町内沿道、林道の不法投棄物が以前より問題となっている。この為、町では一斉クリーンデーを行っているが、各地区とも高齢化が進むと共に年々参加者の減少が著しくなっている。又、町では各地域の住民より選出した「不法投棄監視員」制度にて、対策を実施しているが、現状と今後の不法投棄物削減対策について又、併せて各地区に委託している町道・林道の、管理状況について伺う。

答 「一斉クリーンデー」は素晴らしい七ヶ宿を創る協議会事業として住民と



▲雪の中の「ごみ収集ステーション」

問 沿道の不法投棄看板は小さすぎるのでは又、監視カメラは何ヶ所設置か。

答 看板の種類等について今後点検し検討したい。監視カメラは2台設置済。

問 夜間でも認識できる看板にしたらどうか。

答 看板自体に労力と金をかけるまえに、七ヶ宿町は水源の町であるとの認識を、マスコミ等を通して広く認識させていきたい。



▲不法投棄監視中看板

行政の共同作業として年3回実施しているが、延長及び高齢化による厳しくなっているが今後とも各地区と連携し行っていきたい。「廃棄物不法投棄監視員」は現在14名である。本年の投棄物は約2・5トンであった。町内林道約26路線の草刈等の管理は適切に実施した。